


地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)
 (項目5, 7, 8, 9, 14, 15は評価重点項目です)

取り組んでいきたい項目



項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		町内の一員として諸行事に参加、交流を深めている。(さいの神・バーベキュー大会・敬老会など)又、子供たちの夏休みのラジオ体操の場の提供と参加を共にし、地域との関係性を大切にしたい実行しやすい理念であると思う。	地域の住民として、認めていただき、町内で計画する諸行事への参加と協力を更に強化したい。いつでも気軽に訪問いただける雰囲気作りに努めたい。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		理念を掲示するとともに、入居者と職員で毎日唱和している。又、職員には日々の引継ぎやカンファレンス時、会議等においては理念を再確認すると共に意思統一に努めている。	事業展開は理念が柱となっているので、実践しなければ意味がないように思っている。常に理念を頭に入れてながら邁進したい。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		ご家族には入居説明時、訪問時、又は行事への参加の際に、ケアのあり方と共にお話させていただいている。(ホーム便りの発行)地域の皆様には、G・H主催行事、運営推進会議を通じ事ある毎にお話をし、取り組みを理解していただいている。	利用者・ご家族・地域の力を大切にしていきたいためには、理念の浸透と実践が大変重要だと思っている。今後も更に強化したい
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		公民館を散歩時の休憩場所としており、日常的に挨拶している。又町内の一員として各戸と同じ扱いをしていただいている。従って、回覧板はもちろん、一斉掃除、公園整備諸行事に参加し折に触れ事業所の実情を伝えている。	年1回の防災総合訓練を町内会全体で行い災害時ネットワークが構築されている。又、町内会長さん自らが時々様子を見に来てくださる。住民の皆様には気兼ねなくお茶のみによっていただけるよう働きかけている。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		町内の住民として、自治会、行事などに参加させていただいている。又、夏休みは当事業所にて子供達といっしょにラジオ体操を行っている。	畑の作物を知らない間に届けてくださったり、子供をつれて散歩にこられたり話し相手に来てくださる方もおられる。今後、今の状況を継続させ更に強化したい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	行政が開催している認知症キャラバンメイトとして地域の研修会や元気教室に関わり、認知症ケアの啓発に努めている。又、町内の敬老会には入居者も参加させていただくと同時に、職員による出し物等で場を盛り上げ喜ばれている。		人材育成のための研修生受入を積極的に行い、同時に自らがその研修の機会としている。事業所が主催する講習会等に地域住民からも参加していただく
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義や狙いを始め、この評価を機会に更にG・Hの質の向上を図っていくことを、申し合わせている。具体的には、評価委員を中心にスケジュールを作り、全職員に評価の目的を伝えと共に、意見交換をし、まとめている。		自己評価を全職員で行い、日々のケアのあり方と反省の機会にしている。外部評価の結果を全職員に周知し今後のケアに当り更に質の向上を図るよう、自覚と連携を密にしている。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	グループホーム運営の現況や利用状況、行事活動等を報告すると共に課題となっている事項ヒヤリング等の状況も報告し、実情を理解していただくと共に、意見をいただいてサービス向上に活かしている		運営推進会議の結果をふまえ、更にサービスの質の向上を図るため、委員の意見等真摯に取り組んでいく。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市有地を借地して、施設を建設した経緯もあり、市の担当窓口との連携は密である。地域包括センターとの連携も図りつつ、介護体制のあり方を検討すると共に地域密着サービスを充実している。		NPOとしてこの事業を遂行していくために、更に行政との連携を図っていく。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見制度については、承知しているが当グループホームでの導入事例はない。市の担当窓口と相談し、弱者の権利が損なわれないように対処していきたい。		機会をとらえ研修等に参加、成年後見制度、地域福祉権利擁護事業等について熟知し利用者の支援に生かして行きたい
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員の内部研修の機会をとらえ、虐待の徹底防止に努めることと共に危険性のあるケースの事前防止について、ミーティング等により働きかけ意見統一を図っている。		職員のストレス解消の機会も検討しつつ、虐待を未然に防止していく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居相談に当たって、入居条件、支援の範囲、家族の協力の必要性等時間をかけて説明している。過去の事例等を参考に、利用者の立場を基本としつつも、事業所での限界について理解を得るようにしている</p>	<p>利用料金と納入方法(面会を兼ね持参いただくことが基本)重度化や病院の入・通院対応及び退居、看取り及び医療連携体制に関する現状等、上記に関する事業所の対応、範囲等を詳しく説明している</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>理事長が常勤体制で直接苦情、不満、意見等を聞くことが出来る。利用者の日常生活の中で、直接意見要望を聞いたり言葉や態度から思いを察し、利用者の立場に立った運営を心がけている</p>	<p>運営推進会議に利用者からも参加していただいている。各棟毎に、ケアカンファレンスを毎月実施し、利用者本位の介護に努めている</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>毎月利用料請求時に、各居室担当より日頃の心身の状況や暮らしぶり、状況変化など文章(手紙)で伝えている 事業所での各行事や暮らしぶりについて、作成した「ホームだより」を同封している</p>	<p>「ホーム便り」を毎月お届けする担当職員の作成する、心身状況、暮らしぶりを手紙で届ける。来訪の際、掲示されている写真や作品を見ていただいている</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族にアンケート調査を配布し、直接言えないことも伝えられるようにしている。家族会の設置には至っていない 手紙や訪問の際、気軽に意見を言っていただけるよう、雰囲気作りを努めている。運営推進会議に参加していただいている</p>	<p>アンケート調査による意見の把握 運営推進会議での意見の反映 来訪時、気軽に意見の言える雰囲気作り</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>全体会議を持って意見を聞いている 運営会議で職員の声を反映させるよう努力している 職員からのアンケート調査により意見をもらっている</p>	<p>全体会議の継続実施 運営会議の随時開催 職員からのアンケート調査と意見提出を促す</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>それぞれの職員の都合、希望も加味して勤務表を作成しているが、状況変化に対応して、必要な時間帯に職員を確保(登録パートも含め)している。 勤務の調整も、柔軟に行っている。</p>	<p>同左</p>
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>2ユニット間での交流を日常的に行っているため、相互に顔馴染みとなっている 基本的には各ユニットの職員を固定化してはいるが、ユニット間で相互に年1名くらいを異動させ新陳代謝を図っている</p>	<p>馴染みの関係を大事にし、各ユニットの職員の異動は最小限にとどめているが、相互の日常的な交流を行うことにより両棟の職員と利用者との関係を作っていく 離職等に伴う、新しい職員が入る場合も利用者にはきちんと説明紹介をし対応している。</p>
18-2	<p>マニュアルの整備</p> <p>サービス水準確保のための各種マニュアルが整備され、職員に周知されている。また、マニュアルの見直しが適宜行われている。</p>	<p>各種マニュアルの整備はしているが、見直しの必要のものが一部行われていない</p>	<p>見直しの必要なものは、引き続きやっていかなければならない。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修には、なるべく多くの職員が受講できるようにしている。又、それらの報告は毎月のカンファレンスに行っている全職員の共有が大切であり日々のケアに生かしていきたい		人が人を育てるという作業は、大変であり非常に難しいことである。しかし、事業所のキーパーソンは人材、働きやすい環境が重要であると思っている
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内に「妙高市介護ネットワーク」があり各専門部会がサービスの向上に取り組んでいる GHを運営する他事業所との相互訪問交流を行い、入居者間・職員間の交流の場としている 実習生の受け入れ又、他施設への実地研修を行っている		妙高市介護ネットワークの参加(資質向上を図る) 他グループホームとの相互交流を継続 他事業所との相互実習
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	日常的に職員のストレスや悩みを把握するよう努めているつもりであるが、まだまだ不十分である カンファレンスにより、一人で悩まない体制作りを強化しなければならない 今回はアンケートをとり、職員の気持ちを知り、改善に努めたいと思っている		アンケートの分析をし改善を図る
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	理事長も常勤しており、利用者と接したり日常の職員の苦勞、対応を把握している。又、職員が向上心を持って働けるよう、資格取得や研修への参加を積極的に推奨している		今後も意見を聞き、体制作りを強化したい
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初めに築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前に必ず本人と面会し、直接話を聞きどのような状態にあるかを受け止める努力をしているが充分出来ているわけではない		初期の段階で、本人をもっとよく知り安心していただけるよう更に努めていきたい。
24	初めに築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族の悩み、不安、困っていること、今後どのようにして欲しいか事前に聴いている		今後も、利用に至るまでの家族の相談に応じ、かかえている問題を受け止められるように、努めていきたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族が必要としている事は、何かを考えて、まず出来ることを伝えている		相談時は、他のサービス機関を含め、必要な事は何か見極めて対応するように努めていきたい
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居する前に一度ホームに来て頂き、本人が納得できるように、努めている。又、どうしても、それが出来ないこともある		ご本人が、納得してサービス利用につなげるように、努めていきたい
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	共に生活することにより、一緒に喜んだり悲しんだりしており、人生の先輩から「衣・食・住」を通し多くを学ばせていただいている		日頃からゆっくと話し合う場を持ち不安、哀しみ、苦しみを聞きだすように取り組んでいきたい
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ホームでの様子について、ご家族が面会にこられた折に、お話をしたり外泊で家で過ごされた時の様子を伺って、情報を交換し合い、苦勞、喜びを共に味わっていただいている		ご利用者一人ひとりに違いがあるものの、ご家族に働きかけをしたり、お互いの思いを話し合うことによって関係がより深くなっていくと感じている
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	1ヶ月に1回支払をかねて、ホームに来ていただくようにしている。又、ご本人やホームでの様子を写真に貼ったり近況報告としてご家族に送付している		外泊や外出で家族と過ごされたり、行事に家族をお招きし、良い関係が築けるように支援していきたい。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友達や親戚の訪問がある時は、喜んで受け入れ、会話が楽しめる様場作りを提供している。又、どうしても行きたい場所がある時は、家族に連絡をし、職員が付き添って行く		自由に面会等していただいているが、家族の事情によっては、家族の了解が必要なものもある
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の関係性を職員が共有し、孤独を感じさせない様に声かけをしている。又、場面場面で、入居者同士が声掛けしなくとも、自然に助け合っている		利用者同士、孤立しないように、支援するように努めているが、一人ひとりの状態を把握し、利用者の力や個性を出せるようにしていきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービスの利用が終了された方々のご家族にも、遊びに来ていただくなど、継続的な付き合いもできる様に心がけている。又、家族からの相談に乗っている		退去された方のご家族の中には遊びに来られたり、こちらでの写真を頂きたいと言ってこられた方に差し上げた事もある
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で、声掛けや顔の表情の中から、把握に努め出来るだけ本人の気持ちを尊重し希望を取り入れているが、出来ないこともある		さらに、本人の気持ちに添って思いを把握できるように努めていきたい
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	今までの生活歴の情報を把握する努力をしている。入居後も折に触れ本人や家族にどんな生活をしてきたか聞いている		一人ひとりから話を聞きだすことによりその人の生活暦を知るように努めたい。
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりがどのように過ごしているか、その時々声をかけ、見守り介助を行っている。職員で、情報を共有するように努めている		一人ひとりの状態を日頃の行動からさらに把握できるように、努めていきたい
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日頃より、本人家族と話し合っており、その意見をもとに職員全員で意見交換をし、モニタリング、カンファレンスを行っている		家族や職員からの情報を元に本人がよりよく暮らす為の介護計画作成に努めていきたい
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の見直しが必要な状態に応じて、介護計画を変更しているが、必ずしも現状に即したまめな計画を作成しているとはいえない		本人の現状に即した介護計画を作成していきたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の情報を共有しながら、実施につなげ活かしている。又、介護計画に役立っている		日々の記録を実践の場につなげ介護計画にさらに活かすように努めていきたい
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	現状はグループホームと居宅介護支援事業のみである		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティア、町内会、小中学校、養護学校、民生委員、警察、消防署との連携を密にし、地域に根ざした支援に努めている		ご家族の了解を得て警察や消防署、近所のお店等にホームで暮らしているご利用者の名簿をお渡すために準備をすすめながら、町内の方々と連携を取っている
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	元気教室に出席したり、ボランティアの支援を定期的にうけている		ご本人の意向を聞いて、町内会館で行われている体操に出席している
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	必要に応じて、地域包括センターに連絡して話を聞いていただいている		ホームで解決できない問題は地域包括センターに相談していきたい
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医に定期的を受診したり往診していただいている。又、必要に応じて他の医療機関にも受診していただいている		今後も、ご本人やご家族の希望を聴き必要な医療機関の受診を支援していきたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	全員ではないが、必要な利用者は専門医の治療を受けている。状況により、ご家族と相談し専門医の受診が受けられるよう支援している		心療内科の医師が往診に来られた時に相談していききたい
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員はいないが、利用者の家族であり理事でもある看護師に相談している 往診時についてこられる看護師にも相談している		看護職員の配置を検討していききたい
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院されたときから医療と連携し定期的に病院へ様子を見に行きながら受け入れ可能な状態になったときに早めに退院していただいている		長期入院による、ダメージを極力少なく出来るよう病院の関係者と連携を図っている
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した利用者については、その都度状況に合わせて家族およびかかりつけ医等と話し合っており、職員間でも方針を共有している		重度化したご利用者には、できるだけ早く方針を決めるように努めていきたい
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化した場合、医療機関、家族と話し合っており、今後の対応をその都度決めている		終末を迎えたご利用者については、かかりつけ医と連絡をとりご本人の状態に合わせて連携・支援していけるように努めていきたい
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	住み替えの利用者はいない(入院者を除く)		住み替えがあるときには、リロケーションダメージを少なくする為、情報を提供していききたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	本人のプライバシーを損ねないように言葉がけに気をつけている	記録は書庫の中に保管しており、言葉使いには特に注意を払っている
51	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	それぞれの利用者に合わせて意志を尊重し、無理強いしないよう努めている	本人の希望を表し易いような働きかけを行い、本人の意思で行動できるよう、更に努めていきたい
52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの状態や思いを尊重しながら、散歩・買物等の声掛けを行っている	本人のペースに合わせた一日のスケジュールで生活できるよう、努めていきたい
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	行きつけの理容店を利用する方は家族と一緒にしてもらい、その他の利用者はホームで理髪してもらっている。外出時は声掛けを行って身だしなみを整えている	一人ひとりに合った身だしなみを整えられるよう支援していきたい
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	ホームの畑で作った野菜を収穫したり、食事の準備、下膳、食器洗い、食器ふきなど出来ることをしていただいている	それぞれ利用者の好みに合わせて食事を準備し、食事を美味しく食べられるよう工夫をしている。
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	禁止されている飲酒は、提供していないが、おやつや飲み物は好みの品を出している	本人の嗜好品を日常的に楽しめるよう努めていきたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄はほぼ自立できているが、失禁を少なくする為トイレに行かれた時は声かけをしてパット交換の介助を行ったり、排便のありそうな時は、目配りをしている		必要なご利用者には、さりげなく誘導を行っている
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	午後の時間帯で、本人が一番良いタイミングで入浴が出来るよう声掛けをしている。早めに入りたい方、遅いほうがよい方、毎日希望される方等本人の意向に合わせている		入浴を拒む利用者には、タイミング、言葉かけ等に工夫して入浴していただいている
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりの状態に合わせて、安心して眠れるようにしている。眠れない時は、添い寝をしたり話を聞いてあげるように心がけている		ご本人が安心して睡眠できるように、穏やかな気持ちになれる様にしている。又、眠れない時は、添い寝や温かい飲み物を飲んでいただいたりしている。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	得意分野に合わせて、畑仕事、家事、食事作り、洗濯たたみ等の仕事をいただいている 昔働いていた地域に散歩に出ることにより気晴らししていただいている		特に冬場、ホームでの楽しみを見つけ出してあげて、張り合いのある生活の支援をしていきたい
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を所持している人もあるが使っていない 家族と外出した時に、買いたい物を購入しているのみである		本人とよく話し合っ、所持を希望する方には、叶えられるよう支援していきたい
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気のよい日には、一人ひとりの能力に応じた散歩している。歩行困難な方は車椅子対応で行っている。本人の希望があれば、ドライブにも誘っている		ほぼ毎日、ご本人の希望や、能力に応じて散歩に出ている
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	希望があれば、職員が付き添ったり家族に協力していただき、出かけられるよう支援している		ご主人の墓参りをしたい方には、ご家族に協力していただき、行って来られたり、職員がお連れしている

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望する時は、家族に電話をしたり、お孫さんと手紙のやり取りをするよう支援している		家族と相談し、少しずつ取り入れていきたい
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも、訪問できるような居心地の良い空間をつくり、笑顔で迎えている		自室にテーブルを用意してお茶を飲みながらゆっくり話が出来るようにしている
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないようなケアに、取り組んでいる。カンファレンス等で話し合い職員同士共有している		日々のケアで身体拘束がなかったか、職員同士で共有の認識を更に強く図って行きたい
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関には鍵を掛けていない 居室は本人の希望がある場合は職員がかけている		玄関に鍵を掛けないため、徘徊のある方には目配りをして、職員が付き添って、ある程度満足が得られるまで、散歩している
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	本人の所作に目配りしている 黙って遠くへ行かれる方には家族の了解の下「ココセコム」を使用している		本人の所在や様子の把握に努め安全に過ごしていただけるように更に努力をしていきたい
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者の状況に合わせて危険な物は手の届かないところ、鍵のかかる場所に保管している		一人ひとりの状態に合わせて、危険のない方法をとって行きたい。
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	一人ひとりの状態に合わせて事故のないようにしており、万が一事故がおきたときには、ご家族に説明報告を行っている。又、事故報告書を作成して、予防に努めている		特に夜間時の緊急対応については、事ある毎に話し合いを行いマニュアルを作成し、緊急時に備えている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	職員全員が一年に1回救命救急法の研修を受けているが、いざという時には、出来るか不安である		救急救命法がすぐ使えるよう更に訓練を重ねて行きたい
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	毎月防災訓練で避難誘導を行っている 利用者、地域の方々と合同で一年に1回訓練を行っている		町内会の緊急連絡網に組み込まれておりいざという時には、駆けつけてくださることになっている
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	利用者一人ひとりに対して、その都度リスクについて、家族に説明し理解していただいている		入浴拒否のあるご利用者を誘導し、強制せずにさりげなく入浴している状態をご家族に見て頂き、理解していただくよう努めている
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	普段の状態は申し送り連絡ノート等で把握しており、変化の見られた時はバイタルチェック等行い、家族、管理者に報告し必要なときは医療受診している		体調の変化があった時には、見逃さないように早期発見に取り組んでいる
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬については、その都度本人に手渡し、服薬できたか確認している。		薬の処方説明を個人ファイルにつづり確認できるようになっている。その症状の把握に努め、医療機関に情報の提供を行っている
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食物繊維や乳製品、水分を摂取し、散歩、体操等で体を動かす機会を設けている		毎日、排便のチェックを行っている
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、歯磨きの声かけ、誘導を行っている 義歯の洗浄も定期的に行っている		一人ひとりの歯磨きの状態の把握をし、口腔内の清潔を保てるようにしていきたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの状況と希望に合わせて、食べる量を提供している。管理栄養士を招いて研修を行っている		メニュー委員会があり個人の好み栄養のバランス等を配慮した献立作りに努めている
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症の研修を受講し、全職員に知識を周知できるよう報告する機会を設けている		季節、地域の感染症発生状況の情報収集し、対応できるように努めている
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板、布巾等毎晩漂白しており、冷蔵庫も点検し不要なものは処分している。食材は毎日買物に行き新鮮な食材を提供している		必要に応じてアルコール消毒を行って衛生管理に努めている
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	夏から秋にかけてホームの周りには、コスモスが咲き乱れ利用者、家族近隣の方々にも喜ばれている		グループホームの看板を設置し入り易いようにしている。花を植えたり、季節感を出すように努めている
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じて、お雛様、七夕、お月見、クリスマス等玄関ホールに飾り付けを行ってその気分を味わっている		出来るだけ家庭に近い雰囲気作りをし、廊下には利用者の日常の写真を飾り、ソファなどを置き、玄関には季節感のある装飾を心がけている
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間の横にソファを置き、冬はコタツにくつろげるように心がけている		ひとりになったり、気のあったもの同士がソファで過ごしておられる

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家で使い慣れた家具をもってきており、写真を飾ったりして居心地良く過ごせるように工夫している		居室での過ごし方を本人と相談しながら、その時々考えていきたい
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	朝の掃除の時は、必ず窓を開け空気の入替を行っている 冬は床暖房を使用して、必要に応じてエアコン・加湿器を併用している		居室により室温の違いがあり本人の体感温度も違いがあるので、よく話し合い、適温で快適に過ごせるように努めている
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	床はバリアフリーにしてあり、廊下、トイレ、浴室には手摺が付いており、安全で自立した生活が送れるようにしている。		安全で自立した生活が守れるように更に工夫を重ねて行きたい
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	自室やトイレがわかるように、目印をつけたり本人の写真や名札をつけている		一人ひとりの理解できる力に応じて不満や混乱を招かないように職員同士が話し合いを重ね、環境を整えて行きたい
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	畑のスペースがあり野菜の水やりを行ったり収穫を楽しんでいる 又、軒下にベンチを置いて外気浴をしたり、外で食事をしたりしている		プランターや花壇に、花を植えたり育てたりしていただいている

・サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

* 利用者が積極的に地域の行事に参加させていただいたり、地域の方々は事業所での行事に参加していただき、交流を深めている。又理事・ボランティアの方の協力もいただいている。

* 隣り近所の方たちと挨拶を交わし親しみをもって交流をしている。ご近所で散歩に来られた方には気軽に寄っていただき一緒にお茶のみをしていただいている。

* 立地条件もよく、建物の中だけではなく日常的に自然に触れ合うことができている。天候が許す限り能力や希望に応じて散歩に出かけている。

* 2ユットの利点を生かし、折に触れて利用者・職員ともとても良い交流を図っている。